

皇學館大学 COC

CLL 活動

interim
report

平成 28 年 9 月



南伊勢町竈集落の歴史文化の継承

上野瑞起（現日 2 年）

木村太紀（現日 2 年）

小久保有弥（現日 2 年）

水谷玲那（教育 3 年）

渡邊吏香（現日 3 年）

小谷野真衣（現日 3 年）

私がこのプロジェクトに参加した理由は、竈集落ってなんだろうと疑問を持ち、説明会に参加して興味を持ったからです。そしてそこで行われていたお祭りを、過去のものにしてしまわずに、残していくこと、日本の伝統を継承していくことはとても大切な事だと思いました。

それから実際にこのプロジェクトの1回目に参加し、道行竈に行き、公民館で地域の人とお話をしました。道行竈の村長さんをはじめ、たくさんの方が竈方祭について真剣に考え、意見を出し合っていて、自分達も真剣に考え取り組まなければいけないと改めて感じました。その後、T型集落点検という、集落に住む人とその家族構成やどこにいるのかなどを聞き取り、ワークシートに書き込みました。その後統計を取ってみると、この集落から出ていってしまった子どもさんたちも、1時間〜2時間以内で来られる範囲に住んでいる人が多いことが分かり、お祭りをとり行う際には、なんとか協力して頂きたいなあと思いました。その後は他の竈集落を回って実際に弓を引く場所を見学したり、南伊勢町の食べ物や自然にも触れて、とても良い素敵な場所だと感じて、皆にもこの良さを知ってほしいと思いました。

今後も積極的にこのプロジェクトに参加して、竈方祭を復活させ残していけるように頑張りたいと思っています。



活動実施主体：南伊勢町行政経営課
指導教員：千田 良仁（教育開発センター）

文部科学省
地(知)の拠点

